

広報がもう

「このまちで、心豊かに住み続けたい」と

思える まちづくり

がまチョコ

NEWS

12月号

2023年12月20日発行
No.201

蒲生地区まちづくり協議会 チョコットニュース <https://www.gamoyume.org>

発行者：東近江市 蒲生地区まちづくり協議会・広報企画委員会 住所：東近江市市子川原町461-1・蒲生コミュニティセンター内 TEL / FAX：0748-55-3030



蒲生いきいきあかねフェア

～多くの皆様で終日にぎやかに！～

11月19日（日）「第24回蒲生いきいきあかねフェア」を開催しました。当日は天候に恵まれ快晴の下、多くの皆様にご来場いただき終日にぎやかなイベントとなりました。

あかねジュニアバンドによるオープニングで始まり、開会式では、小椋市長はじめ多くのご来賓の方にお越しいただきました。JA 滋賀蒲生町による、つきたてお餅の振る舞いには長蛇の列ができ、会場では多数の模擬店やキッチンカー、各種団体啓発ブースが並び、たいへん賑わいました。特に交通安全、防災啓発ブースは子ども達に大人気で、展示されているハシゴ車、警察パトカー・自衛隊車両への体験乗車では写真撮影をする人たちの笑顔であふれていました。

ステージではUSA Gig Me!のバンド演奏、丸ちえろさんのハラハラする大道芸、シンセカイヒーローLIVE等で盛り上がりました。最後には恒例の『お楽しみ抽選会』で幕を閉じました。

今回イベントを無事に終えることができたのは、ご来場くださいました地域の皆様、各模擬店



や啓発ブース、出演者、会場設営にご協力いただいた関係者各位の熱意の賜物です。実行委員会一同厚く御礼申し上げます。

今後子どもから大人まで皆さんのふれあいと交流の場となる地域密着のイベントとして変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【蒲生いきいきあかねフェア実行委員会】

自治連・まち協合同研修会

～ 60年の歴史ある地元企業を見学 ～

11月23日（木・祝日）蒲生地区自治会連合会と蒲生地区まちづくり協議会による合同研修会を実施しました。

蒲生地区で金属プレス加工業として60年の歴史をもち、地域に貢献できる「100年続く企業」を目指して取り組まれている地元企業である㈱寺嶋製作所の大塚工場を見学しました。

当日は創業からの歴史や企業理念の説明を受けた後、炊飯器の釜を自動プレス加工する工程をはじめ、品質と精度の高い数千種類に及び製品の溶接・板金・塗装の生産ラインに加えて自社トラックによる配送までの一貫生産体制を見学しました。

参加者からは電気代の高騰対策、外国人労働者や障がい者の雇用、働き方改



革への取り組みなどの質問があり、常務取締役から会社の状況や対応について分かりやすく説明をいただきました。



【蒲生地区自治会連合会事務局】

蒲生の文化財

6

蒲生地区まちづくり協議会
(万葉ロマンの里づくり部会)

滋賀県指定有形文化財 雨神社本殿

雨神社本殿（市子殿町）は、蒲生郵便局の北西の小さな森の中の覆屋の右端にあります。建物は間口が1mに満たない小規模な本殿で、形式は「一間社流れ造り」で、正面に向拝が付き、屋根はヨシで葺かれています。墓股（かえるまた）や手挟（たばさみ）などの彫刻も優れた意匠です。棟札より大永3年（1523）に建築されたことがわかります。この建物は、建築年代が明確であることから、室町時代の数少ない小規模本殿の特徴を知る上で貴重な建築です。



ガリ版100の物語 ⑨

～ ボールペン原紙は今も必需品 ～

東京の印刷会社の社長から、原紙を送ったお礼の手紙を紹介します。

“印刷・製本業界は急激な衰退業界でございます。その中で、資材メーカーも、機械メーカーも廃業続出しております。ですので、この度、お譲りいただきました、ボールペン原紙で3年以上使用できると思います。（9面とれましたので）弊社もあと何年営業できるか、そんなきびしい毎が続きますが、今回のご厚意に背中を押していただきました。本当に有難うございました。”

出来上がった出版物の包み紙に「名称」「冊数」等を印刷するために、現在も使っておられます。



（新ガリ版ネットワーク）



「ガリ版100の物語」
つなごうプロジェクト



【蒲生地区まちづくり協議会】

「蒲生地区まちづくりフォーラム」開催の案内

日時：令和6年2月3日（土）13：30～

場所：あかね文化ホール

講演：「健康寿命について」のお話し

講師：花戸貴司 氏（永源寺診療所所長）

主催：蒲生地区まちづくり協議会

◆詳細は、チラシ・HPでお知らせします。

ぶらい 近江 鉄道 シリーズ ガチャコンに乗って

（米原駅編）

近江鉄道の北の終着駅米原。新幹線や、北陸線の乗り換え駅としておなじみだが、ここで降り立ち、山手に向かう。山すそに「青岸寺」がある。曹洞宗のお寺で、庭園が有名。晩秋はモミジが色づき一層きれい。

なんとお寺と言うのに、喫茶コーナーがある。抹茶、紅茶、珈琲とケーキ類が楽しめる。手入れされた庭園を眺めながら、お茶するのもよろしいかと。



蒲生地区まちづくり協議会（広報企画委員会）

好天に恵まれ、再発見ふるさとウォーク開催!

in かも

桜川西
sakuragawa nishi

万葉ロマンの里づくり部会の今年度からの新企画「歴史ウォーク」を、11月11日に開催しました。コミセンから出発し、桜川西区を一周してコミセンに戻るコースで、参加者14名が約2時間30分のウォークを行いました。コース途中の医療センター、旧火葬場、桜川駅、小房銀座、敬円寺、旧桜川村役場跡、子守勝手神社などでは、桜川西区在住の西田善美さんより楽しく、

かつ、詳しい解説を聞きました。自動車や自転車で走っているだけではわからない、地域の歴史や暮らしの一端を垣間見ることができ、桜川西区の魅力を再発見しました。北風の強い日でしたが、皆さんそれぞれに「歴史ウォーク」を楽しんでいただけました。

近江鉄道沿線

桜川駅

小房銀座

敬円寺

外池家住宅



子守勝手神社

(万葉ロマンの里づくり部会)



人生のパートナーに巡り会いましょう!



赤い糸プロジェクト VOL27

“ おう! みで あい ” ~ 近江DE愛 ~

日 時: 令和6年2月11日(日)

10:00~14:00

場 所: がりばん楽校 (蒲生岡本町574)

定 員: 真剣に結婚を考えている50歳前半までの男女各10名(定員に達し次第締め切り)

参加費: 1,500円

内 容: 蒲生発祥のガリ版で名刺を作り、交換して縁をつくり、人生のパートナーに巡り会いましょう。

問合せ・申込み先

090-1917-6512 (森田)

htmorita@yahoo.co.jp

わいが屋@せせらぎで楽しいひと時を♪

1月の開催案内

1/18
(木)

13:30~15:00
「軽体操でリフレッシュ!」

どなたでも参加できます!

場所
問合せ

東近江市社会福祉協議会 蒲生事務所せせらぎ
東近江市市子川原町676-1
☎ 0748-55-4895 IP 050-5802-2528
【蒲生地区第2層協議体「わいがや支え合い蒲生」】

再発見

連載

がもうの話

蒲生地区まちづくり協議会
(万葉ロマンの里づくり部会)

126

石塔寺 (その16)

里村紹巴の石塔寺来遊

安土桃山時代の連歌界の第一人者と呼ばれる里村紹巴(じょうは)は、永禄10年(1567)2月中旬に京を出発し、5月半ばに駿河国(静岡県)の佐田(薩埵峠)まで行って海山(田子の浦、富士山)を残らず見て、8月下旬に帰京した。その時のことを『紹巴富士見道記』という紀行文に残している。

紹巴は琵琶湖から西の湖に入り、下豊浦の浄厳院で千句連歌などをした後、布施山城の麓に至っている。そして21日(4月)に石塔寺の勝蔵坊にて連歌の興行をし、「朝露は 時雨に庭の 木の芽(雫)哉」と詠んでいる。勝蔵坊は石塔寺の子院で、僧侶の名前でもある。

その後、山上の紅葉を見て帰る時に、観道坊の近くで「ぬれぬれぬ 松や一木の むら時雨」と

詠んだことを思い出し、その墓所に詣でて、日野に着いた、と記される。観道坊については同じく石塔寺に關係する僧侶だと思われるが、どのような人物かは不明である。

この紀行文からは、石塔寺には文人が立ち寄るような魅力的な場があり、人がいたことが窺える。布施から石塔寺、そして日野へ至る道は、後の御代参街道の前身に当たるのだろうと想像される。



『紹巴富士見道記』(国立国会図書館デジタルコレクション。群書類従本)

蒲生コミュニティセンター



友達募集中▶
LINE 公式アカウント
ID@508qfqtn



コミセン教室・講座あんない

▶ 蒲生わいわいサロン

1月10日(水) 10時~11時30分

【内容】押し花のカレンダーを作しましょう

【持ち物】カレンダーに貼る写真等

【参加費】無料

【場所】蒲生コミュニティセンター 小ホール

温かい飲み物をご用意します。

お菓子をお持ちいただいてもOKです♪



▶ 音楽の散歩道(第218回)

1月26日(金) 13時30分~15時30分

一部 津軽三味線と民謡

二部 今月の一曲

【参加費】500円

【場所】蒲生コミュニティセンター 小ホール



第24回あかね年賀状展



期 間：令和6年1月15日(月)~31日(水)

展示場所：蒲生コミュニティセンター1F エントランス

カリ版・版画・水彩画・水墨画・ちぎり絵

など辰年賀状の応募作品を展示します。

力作ぞろいですので、ぜひご覧ください。



盆梅展

期 間：令和6年1月14日(日)~2月14日(水)

展示場所：蒲生コミュニティセンター1F エントランス

今年も「趣味の会」のみなさんが大切に育て

られた梅の花が、香り豊かに咲き誇ります。

〈申込・問い合わせ〉 蒲生コミュニティセンター

☎0748-55-0207 IP050-5801-0207 FAX0748-55-3898

(受付時間) 9:00~17:00 【年末年始休館日】12月29日~1月3日

詳しくはQRコードよりチラシをご覧ください

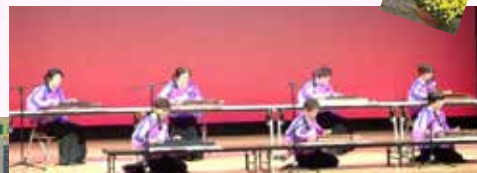


蒲生地区文化祭開催される 3日間で2,000名を超える来場者!

令和5年度の蒲生地区文化祭を、晴天のもと11月3日~5日まで蒲生コミュニティセンター及びあかね文化ホールで開催しました。

今年度は、菊花、自治会作品、デイサービス関係、園・学校、団体・個人作品展示、舞台発表、カラオケ歌まつりに加えて、体験教室、お楽しみ抽選会を4年ぶりに開催しました。個人作品では、立派な盆栽、絵画、手作り作品等、素晴らしい展示内容でした。各自治会の活動報告、団体作品では成果報告と作品の展示、園・学校の展示では、立体、絵画、書などの作品で会場を飾っていただきました。又舞台発表では、歌、踊り、ダンス、楽器演奏等で、楽しい時間を提供していただきました。最後のおたのしみ抽選会では当選番号が発表される度に大きな歓声が湧き上がり、楽しんでいただけたと思います。

文化祭全体を通じて、来場者数も約2,300名



を数え、次回に繋がる文化祭であったと思います。

最後になりますが、会場に足を運んでいただいた皆様、展示、舞台、体験教室等にご協力いただいた方々に、実行委員一同、改めて感謝申し上げます。

【文化祭実行委員会】

蒲生まち協会員は、蒲生地区に住んでいる一人ひとりが会員です。



がまチョコに皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。

Email: gamomachikyo@e-omi.ne.jp TEL/FAX: 0748-55-3030

HPのQRコード

←がまチョコのバックナンバーも見られます。

蒲生地区まちづくり協議会(広報企画委員会)

■蒲生地区の人口

(令和5年12月1日現在)

人口: 14,244人(-5)

男性: 7,095人(-6)

女性: 7,149人(+1)

世帯数: 5,583(+16)

※()内は前月比